

平成29年度
第4回 社会教育委員会議・公民館運営審議会 会議録

日 時 平成30年3月8日（木） 午前10時～午前11時

場 所 北杜市役所 西会議室

出席者 篠原隆美、小泉優子、仲田俊朗、赤岡けさみ、内藤久敬、坂本正子、
板山國夫、大久保さかえ、藤森富士夫、齊藤けさ子、仁科陽一、堀内弘、
小林紀子、小澤建二、栗澤雅子

欠席者 今井三津子

教 育 部 長 井出良司
委 員 会

事務局 生涯学習課長 小尾正人
社会教育担当リーダー 平井伸一
社会教育担当 高柳直哉

議 事 (1) 北杜ふれあい塾について
(2) 平成30年度北杜市生涯学習計画（案）について
(3) その他

公開・非公開の別：公開

傍聴人の数：なし

1. 開会（公民館運営審議会 齊藤副会長）
2. 教育長あいさつ（井出部長代理）
3. あいさつ（社会教育委員会議 板山議長）
4. 平成29年度 第4回社会教育委員会議・公民館運営審議会協議事項

【北杜市公民館運営審議会会議規則第2条第2項の規定により、内藤会長が議長となる】

（議 長） 審議会の公開に関する要綱第3条の規定により、議長が委員へ「公開」を諮る。

【委員了承】

第1号議案「北杜ふれあい塾について」を事務局からの説明を求める。

（事務局） 今年度の北杜ふれあい塾開催状況について説明。平成30年度ふれあい塾については、前回会議で検討した結果を説明。

（議 長） 質問、意見等ありますか。

- (委 員) 了承
- (議 長) 他になければ、第2号議案「平成30年度北杜市生涯学習計画（案）について」に移ります、事務局説明をお願いします
- (事務局) 平成30年度北杜市生涯学習計画（案）について、前回の意見等を踏まえ変更点を説明。
- (議 長) 説明が終わりました、何か質問、意見等ありますか
- (委 員) 基本構想について、市長より健幸北杜宣言があったが、関係について説明をお願いしたい。
- (事務局) 基本構想の下に健幸北杜を位置づけている。基本方針の中で言い表わせればと考えています、ご指摘を踏まえ訂正したいと思います。
- (委 員) 公営アカデミーについて、具体的な事業等の説明をお願いしたい。
- (事務局) 生涯学習を含めた市民の学習を公営アカデミーとして捉えている、子育て支援を含め基本的には学習支援として考えています。平成29年度については中学生の夏休み及び冬休みに自主学習的な支援を実施しました、引き続き実施していく予定です。平成30年度は小学生に対して夏休みに探検学習事業として水に関する学習や歴史に関する学習を企画しています。また、学童保育の支援や貧困家庭への支援についても予定しています。このような事業全体的に公営アカデミーとしています。
- (委 員) 具体的な事業を行い公営アカデミーの構築するのか、基本的なものがあって発展し進めていくのか説明していただきたい。
- (事務局) 公営アカデミーは1つの事業であります、学習支援が事業の骨格としています、現状としては子ども達への学習支援として特化して実施しています。
- (委 員) 原っぱ教育からステップアップし公営アカデミーとして考えていいか。
- (事務局) 1番の計画は総合計画です、教育については原っぱ教育があります、その手法として公営アカデミーを実施していくとお願いしたいと思っています。泉小をモデルにコミュニティースクールを実施しました、地域の方に学校に関わっていただき盛り上げてもらいたいと実施しています、学校ごとの特徴が出ればと思っています。現在は市の任命なしで実施できることになっています。
- (委 員) 高齢者から警鐘などチェックやアクションを行っているか、また市長への進言を行っているかお聞きしたい。
- (事務局) P D C Aの実施等検討していきたい。
- (委 員) アカデミーとは学問や芸術などに対する支援としています、学習支援は好評であったことはお聞きしました、芸術面での支援も考えていただければと思います。

- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。子ども達が入り口でアカデミーの対象になっています、教育委員の意見を聞く中で進めていきたい。
- (委員) コミュニティースクールを推進していくということは、全ての学校に導入することと解釈していいか。地域が学校に意見を述べることはいいことではあるが、疑問である、分担されているから教育（学校・地域・家庭）が成り立っていると思う、地域が学校に入り込んでいくことがコミュニティースクールであると聞こえる。各学校にメリット・デメリットを伝えるべきではないか。
- (事務局) 国が進めているものですが北杜市が積極的に進めるものではありません、地域が協力しよりよい学校が出来ればと思います。地域との協力体制が出来れば実施できるものです。全ての学校に導入するものではありません。
- (議長) 例えば、外国の教育観と日本の教育観とは違います。外国の教育観を日本で導入することは出来ない、学校・地域で情報交換をして実施しないとうまくいかないと思います。
- (委員) 世界遺産等今の子ども達は関心がない、先ほど説明していただいた探検事業はとてもいい方法です。また、オリンピック・パラリンピック合宿誘致について現状を聞きたい。
- (事務局) BMXとバレーボールの誘致に取り組んでいます、先般フランスのバレーボールチームが視察に来てその結果を待っている状況です。BMXについては合意には至らなかったです。
- (委員) 芸術文化の振興の取り組みについて、囲碁関係の事業ですので、他の事業も記載した方がいいと思います。
- (事務局) ご指摘ありがとうございます。様々な事業を記載いたします。
- (議長) 他に意見等なければ、第3号議案「その他」に移ります。事務局で提案事項ありますか
- (事務局) 年間委員報酬の支給について説明する。
- (委員) 先日、韮崎市の施設に行きましたところ事業のポスターが大きく目に留まりました。ふれあい塾等のチラシも大きくして施設に掲示出来ればと感じました。
- (事務局) 拡大は可能ですので、掲示したいと思います。
- (議長) 審議ありがとうございました、議事を終了します。
- (事務局) 議事進行ありがとうございました。閉会の言葉を社会教育委員会議栗澤副議長お願いします。
- (副議長) 第4回社会教育委員会議・公民館運営審議会を終了します。

閉会（午前11時）